

第3回地域振興財政部会（第2部会）

招集年月日	平成24年11月8日（木）					
招集場所	南部総合福祉センター2階会議室					
開会時間	午後2時00分					
閉会時間	午後3時00分					
出席委員 及び 欠席委員 〔出席委員9名〕 〔欠席委員1名〕	委員 番号	氏 名	出席 の別	委員 番号	氏 名	出席 の別
	1	山城茂範	○	6	比嘉勝	×
	2	玉城健次	○	7	嘉数成裕	○
	3	砂川洋一	○	8	青田治夫	○
	4	喜屋武正彦	○	9	小橋川明	○
	5	高江洲順達	○	10	与那嶺武	○
会議に出席した 事務局の職・氏名	事務局長	知花賢正				
	室長	山城匡				
	係長	知念正樹				
	主任	新垣美智子				
その他会議に 出席した者						
会議に付した事件 及び議決内容	別紙のとおり					

第3回地域振興財政部会（第2部会）

会 議 録

次 第

1. 開会あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・部会長 高江洲順達
2. 前回議事録（要旨）の確認

【協議事項】

1. 負担金の算出に係るごみ量等の取り扱いについて

- ① 前回西原町としては、5年平均を主張した。財政面の安定的な見通しから、数年の平均値を採用していただきたいという考えである。基本的には5年平均を採用してほしいが、他市町の考えもあるので譲歩しても3年平均までという考えである。
- ② 前回与那原町は、単年という考えであったが、持ち帰って財政等と調整した結果、安定した数値という面から5年平均ということになった。
- ③ 豊見城市は、基本的に考えは変わっていない(単年)。
- ④ 八重瀬町は、3年平均という考えである。
- ⑤ 5年平均、3年平均、単年どちらを選んでもそんなに数字(金額)はかわらないと思う。そのために、平均を採るとか複数案提示するとかを幹事会等に示すのはどうなのか。それを提示した理由付ができるのか疑問である。できるだけ一つにまとめて示すべきである。
- ⑥ 単年であろうが平均であろうがそう変わらないということであるならば、安定的な財政運営の面からして平均を採用しても良いのではないか。
- ⑦ ごみ処理事業負担金との整合からしても単年が良いのではないか。
- ⑧ 事務局としては、最終的に清算まで考えているのか。
清算は考えていない。
- ⑨ 他自治体の事例はどうなっているのか。
インターネットから検索した限りでは平均値を採用したところは見当たらない。
- ⑩ 一人あたりのごみ量がそう大きく動くようなものでないからトータルでも金額(負担金)は大きく変わらない。
- ⑪ 金額が変わらないからという議論はしない方が良い。それ以外に客観的な理由を考え議論すべきである。
- ⑫ 事務局としては、前々年度実績が望ましいということか。
事務局としては、ごみ処理事業負担金の扱いからすると同等の前々年度実績が望ましいと考えていた。

- ⑬ 建設費の裏負担や起債のことなど確認すべきことはしっかり確認しておくべきである。
- ⑭ 他自治体の状況を資料として出していただきたい。判断する資料がないので議論が進まない。もう少し根拠資料を示してほしい。
- ⑮ 単年度実績にした場合、ごみ減量の数字が見えやすいので意識が高まってくると思う。そのことも一つの理由になるのではないか。

【確認事項】

事務局で他自治体の状況を調査し、根拠資料等(直近の前々年度実績を採用)を作成して、部会長との協議を経て決定する(部会長一任)。ただし、調査内容が著しく変わる場合は、再度部会で協議する。